

学ぶ楽

これからまなぶーすを利用しようと考えている方に、活動の様子や学びをサポートすることも支援員、学習ボランティアさんの声をお届けします。◎まなぶーすの利用は無料です。

★登録者数(両教室の合計) (4月30日現在)
小6:6名、中1:8名、中2:11名、中3:16名、
上記以外:26名 計:67名

☆教室ごとの学習支援登録人数(定員各50名)
区役所前教室:22名 / 西台教室:19名

★学習ボランティア登録数 大学生:14名、社会人:29名

★4月の利用実績
子どもの来所のべ人数:187名
学習ボランティアの参加のべ人数:26名



こどもの日は??

「こどもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかるとともに、母に感謝する日」

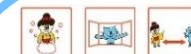
と定められた国民の祝日です。昔中国から伝わった「端午の節句(たごのせつこ)」という厄払いの習慣から始まり、病気や災いをさけるための行事だったそうです。鯉のぼりは、子どもたちの健やかな成長を願って揚げられます。もともとは武士が玄関に幟(のぼり)や旗指物(はたさしもの)を飾っていたことから始まったようです。



～いちご大福作り～



こどもの日といえば柏餅(かしわもち)！なのですが、より手軽に作れるいちご大福に挑戦しました！先生たちが事前に生地作りや小分けを済ませ、子どもたちで生地を伸ばしていちごやあんこを包みました。初めはお餅が手にくっついて苦戦していた子どもたちでしたが、慣れるとみんな職人のように上手に作っていました！特大サイズや可愛い顔のものなど様々な大福ができました♪



感染症対策を徹底し、こまめな手洗い、消毒、換気、個別での作業など衛生面に十分配慮し取り組みました。

普段の居場所風景をご紹介します

同じ時間に来ている小学生同士で、工作や宝探しをするのが最近の流行りです！居場所支援では、主に学校の宿題、ボードゲーム、トランプ、工作、お絵描き、雑談、相談などを行っており、家庭や学校以外の居場所づくりを目指しています。



居場所支援

- ・対象:小学生～概ね18歳まで
- ・時間:〈区役所前教室〉
月曜日11:30～19:30
〈西台教室〉
土曜日12:00～17:30

～ちよこつとー工夫～



鎧(よろい)や兜(かぶと)は、「子どもたちを災いから守ってくれるように…」との意味が込められています。これからもみんなが健康に過ごせることを願って、クッキングシートで兜を折り、中に大福を入れて食べました！



ある日の授業終わり

上のイラストは、指文字で「まなぶーす」と表しています。ある日の授業終わり、子ども同士が手話でコミュニケーションを取っていました。ろう学校に通う子と趣味で手話を勉強している子です。初めは2人とも緊張していましたが、何度か話すうちにお互いの事を知り、楽しく話すことができました。手話の細かいニュアンスや、より自然な表現方法など、たくさんの学びがあったようです。日常では手話を使う場面がほとんどないので、このような機会を大切にしていきたいです。

